

2025年度 学校教育(基本方針)総括

生駒市立大瀬中学校

教育活動目標を達成するための基本方針(重点目標)について

本校の今年度の7つの基本方針のうち(2)(3)(4)(5)(7)の項目を重点目標に設定して教育活動を行い、その内容に特化して、学校評価アンケートを基に総括を行った。




- (1) 学校安全管理体制の継承と確立
- (2) わかる授業、魅力ある授業づくりの推進
- (3) 生徒理解、きめ細やかな生徒指導の充実
- (4) いのちを大切に作る心や人権を尊重する教育の充実
- (5) 保護者、地域との連携
- (6) 組織力の向上
- (7) 教職員の働き方改革の推進



以下【保護者用アンケート ⇒ 保護者 生徒用アンケート ⇒ 生徒 学校評価アンケート ⇒ 教職員】

◎ 生徒 学校評価アンケート(4段階)

 1:あてはまる  2:ややあてはまる  3:あまりあてはまらない  4:あてはまらない

◎ 保護者・教職員・学校関係者アンケート(5段階)

 1:あてはまる  2:どちらかといえばあてはまる  3:どちらともいえない

 4:あまりあてはまらない  5:あてはまらない

※昨年度から保護者と教職員・学校関係者の回答は5段階に変更しています。

(2) わかる授業、魅力ある授業づくりの推進

- ① 定期的に校内で公開授業や研修を行い、授業力の向上を図る。
- ② ICT 機器等を活用し、主体的・対話的な学びによる授業や魅力ある授業作りを推進する。
- ③ 少人数指導や、学習補充等を実施し、基礎学力の充実を図る。
- ④ 学校図書館を充実し、読書活動を推進する。

① ② 3年前から当該学年以外は生徒を下校させ、全職員で校内研修ができる体制を整えて校内研修を行っている。今年度は9月17日(水)に第1学年で研究授業を実施し、その後教科ごとに研究討議を行った。

また、授業参観は保護者対象に年間 3回 ① 6月9日(月) ② 11月18日(火) ③ R8 2月10日(火)予定したが、最終の2月についてはインフルエンザによる学級閉鎖や校内の感染状況を鑑みて感染予防を優先し、急遽中止の判断をせざるを得なかった。

学校運営協議会においては、11月17日(月)実施の第2回の運営協議会の前に授業参観を設定し、生徒の活動や授業の形態などについて参加した委員に見ていただき、その後の協議会で意見交流を行った。

校内研修では、昨年度まで行った参観後に、授業の感想や意見を述べる形を変更し、今年度は第1学年で行った授業に関して教科を中心に参観する形をとった。授業参観の後には授業者と参観者で研究討議する場面を設け、学校全体の授業力の向上を図る工夫とした。ICT 機器等の活用については、生徒のクロムブックの活用率は前年度より上がったが、今後は、学習内容に適した形で有意義に活用できるようにさらに研修を積む必要がある。R8 年1月から、生徒使用の端末も iPad に変更となり、職員の研修も進めながら、積極的な利活用に繋げられるよう進めていく。

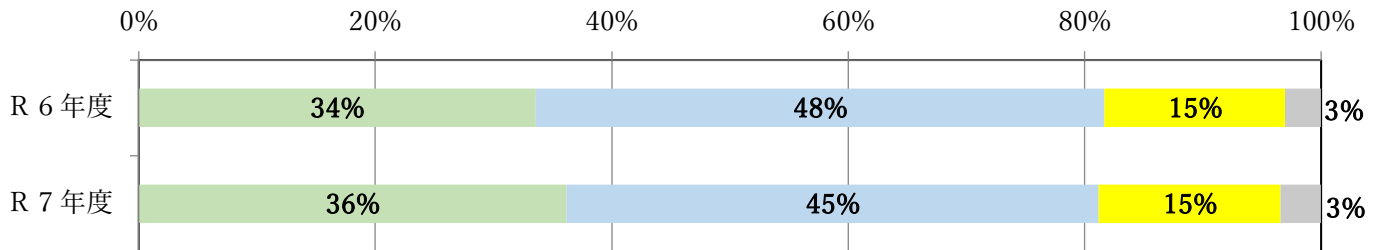
③ 少人数指導は、第1学年の英語と数学で実施した。いずれの教科も学級を2つに分けて、少人数で授業を行う形をとったが、人員の関係で英語科については途中から少人数での授業ができない状況に陥った。学習補充に関しては、数学や英語など苦手な生徒を対象に実施したり、長期休みを利用したりして積極的に行った。生徒の実態を把握しながら、基礎学力の定着に努めている。わかりやすい授業について、生徒は昨年度とほぼ同じ割合(81%)で肯定的回答

であったが、保護者の割合は68%に留まった。授業参観の機会も少なく、24%はどちらでもないと回答があることから見えにくいところではあると思われる。しかし、生徒の19パーセントは、授業が分かりやすく学習できているということに否定的な回答であるため授業での生徒の見取りと手立ての一層の工夫が必要であると考え。

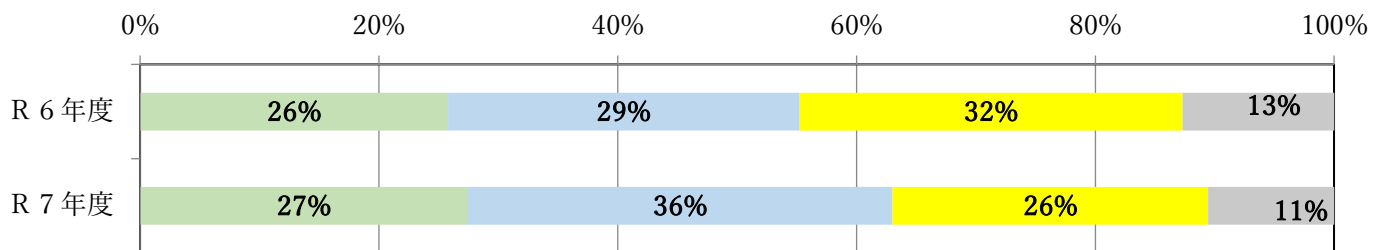
今年度から公立高等学校の受検の形が大きく変化したことについて、授業者として指導と評価の一体化を図りながら生徒の学力をつけると共に説明責任も果たせるよう求められる。

- ④ 学校図書館については、学校図書館司書を中心に季節感のある掲示や生徒の興味を引くディスプレイ、催しの実施など図書ボランティアさんの力もお借りしながら利用率は高い水準を保っている。

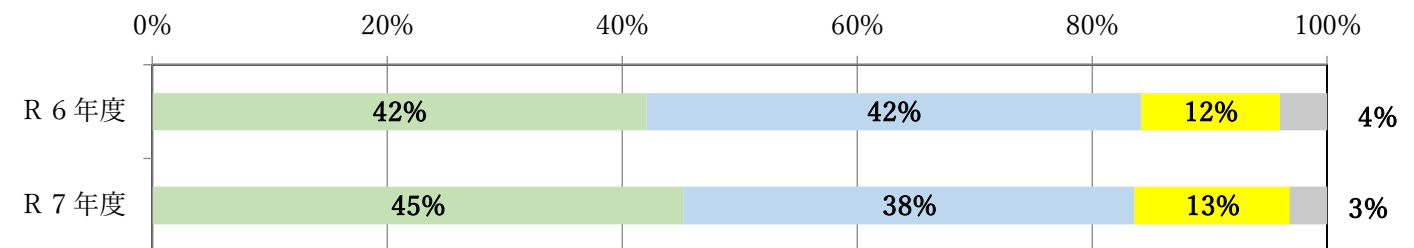
生徒③「授業はわかりやすく学習できる」



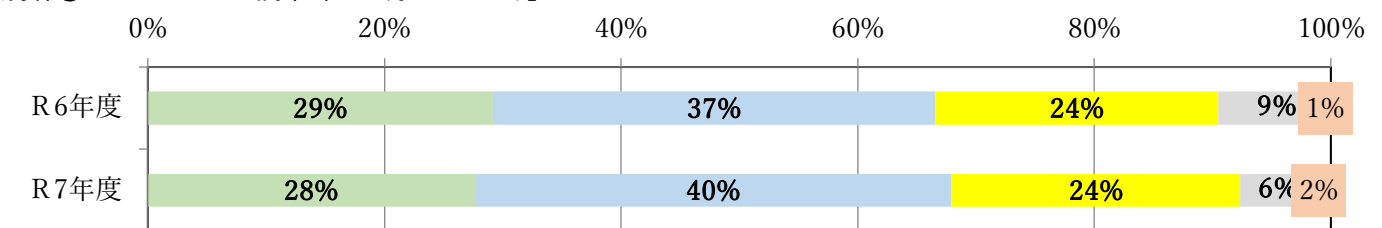
生徒④「授業でわからないことがあるときは先生に聞くことができる」



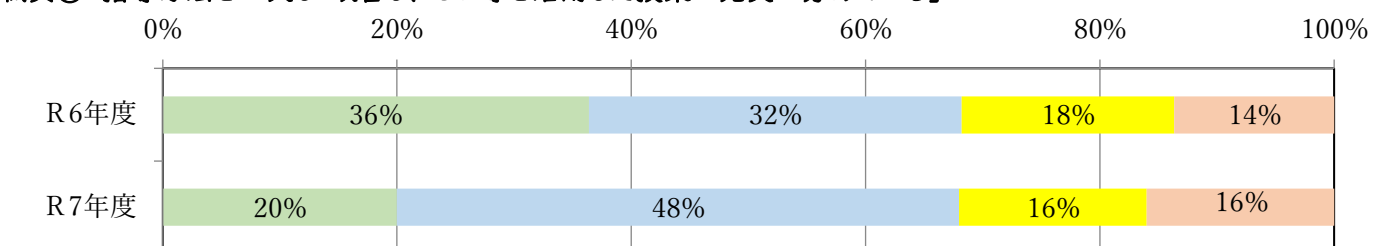
生徒⑤「授業中、周りの人と話し合いをして進める学習をしている」



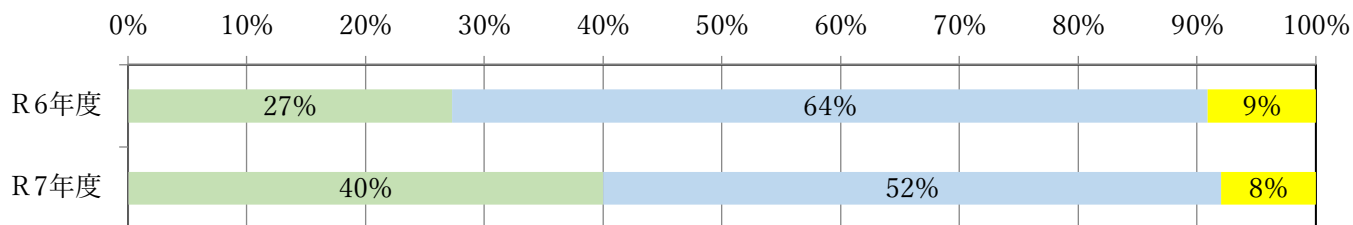
保護者⑥「わかりやすい授業作りに努めている。」



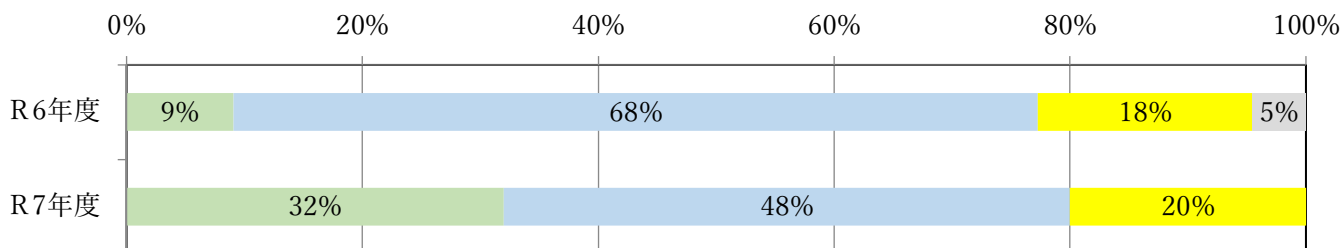
教職員①「指導方法を工夫し・改善し、ICT等を活用した授業の充実に努めている」



教職員②「生徒の実態を的確に把握し、基礎学力の定着に努めている」



教職員③「学習評価を通じて、生徒の学習状況を把握し、その成果を学習指導に生かしている」

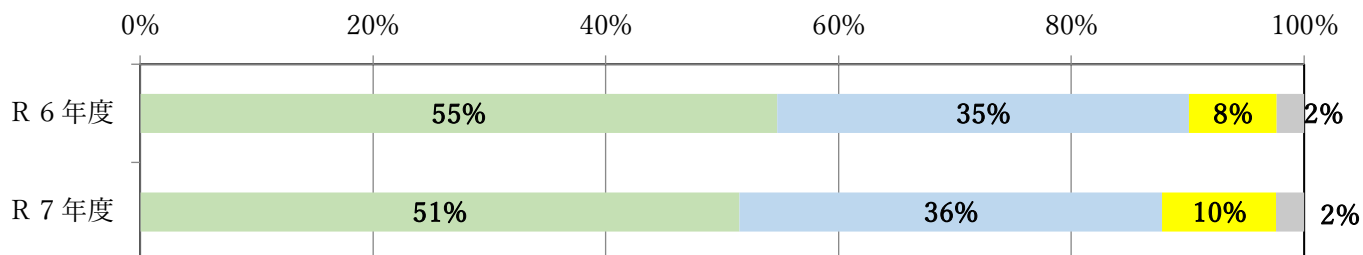


(3) 生徒理解、きめ細やかな生徒指導の充実

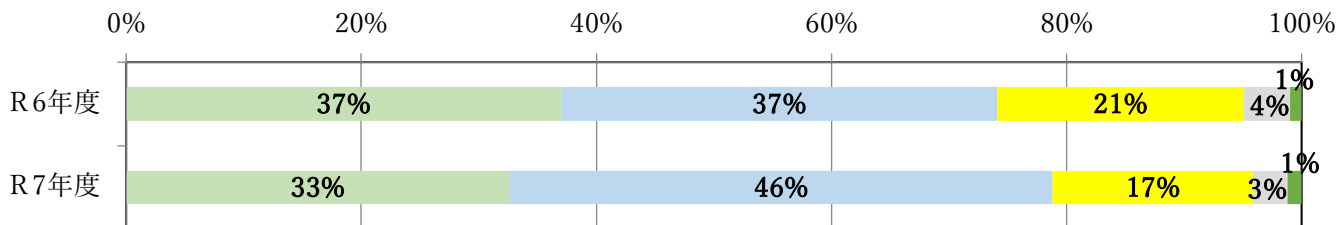
- ① あいさつを奨励し、生徒の基本的な生活習慣を確立する。
- ② 生徒理解に努めることにより信頼関係を構築し、生徒の心を耕す教育の充実を図るとともに、規範意識と自己有用感を高める取組を推進する。
- ③ 不登校生徒への対応を充実させるなど、教育相談と生徒指導の両面から生徒理解を深める、また、スクールカウンセラーや関係機関との連携等により、課題のある生徒への対応を充実する。
- ④ いじめの早期発見、早期対応を徹底し、いじめのない学校を目指す。

- ① 学校協働活動として地域のあいさつ運動が定期的実施され、生徒は積極的にあいさつができている。生活委員会が中心となったあいさつ運動もあり87%の生徒があいさつと正しい言葉づかいができていると回答している。教職員も92%が積極的に取り組んでいると回答している。また、普段から地域の人とあいさつを交わしたり、地域の行事に参加したりしていると回答した生徒は昨年度より3%増加し、67%となっている。笑顔であいさつすることをはじめとし、地域にも関わり、普段からつながりのある関係を目指しながら取り組んでいきたい。
- ② 悩みや困ったことについて話を聞いてくれる先生がいると回答した生徒は昨年度から8%増え77%となった。生徒と教職員との信頼関係を深め、生徒の悩みや困りごとを受け止めることができるように、年間2回教育相談を行い、教職員がすべての生徒と話す機会を設けている。教職員がいつでも話を聞く姿勢を持っていることを伝えることが大切であると考えている。
- ③ 不登校支援については、不登校支援サポートルーム「えん」を有効に活用し、お話し会として保護者同士がつながる機会も定着しつつある。学校に来ることや教室に入ることにおずかしさを感じている生徒については教育相談部会で情報共有し、必要に応じて関連機関とも連携しながら、チームを組んで対応している。サポートルーム「えん」に常駐の支援員との連携は不登校支援の早期対応に非常に大切であるため、連携強化に努めたい。
- ④ いじめや暴力については、85%の生徒が安心して学校生活ができると回答しているが引き続き早期発見、早期対応と共に未然防止に重点をおいた生徒観察、生徒理解に全職員で取り組む。

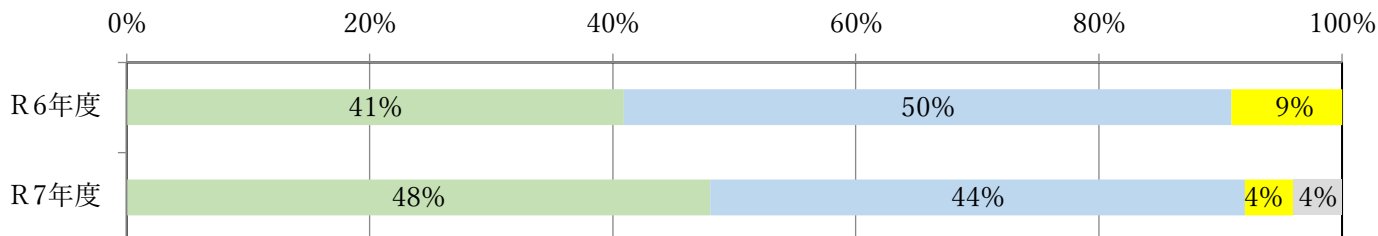
生徒⑩「あいさつやきちんとした言葉づかいができている」



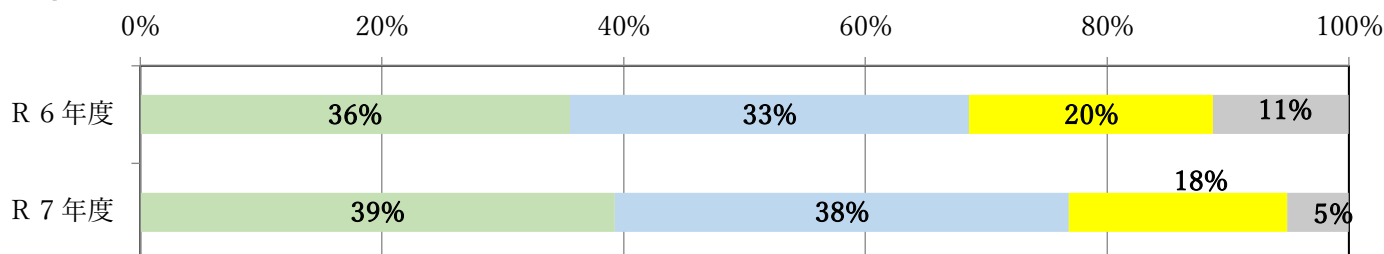
保護者⑨「学校は、生徒が明るく元気なあいさつができるよう努めている」



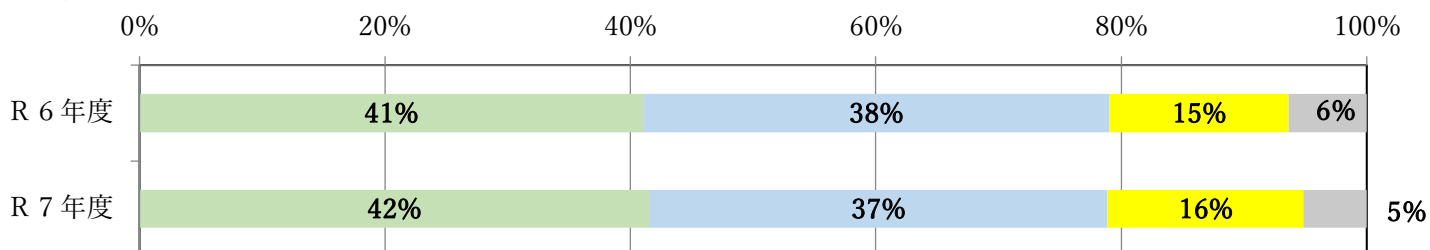
教職員④「生徒が、挨拶や正しい言葉遣いができるよう、指導している」



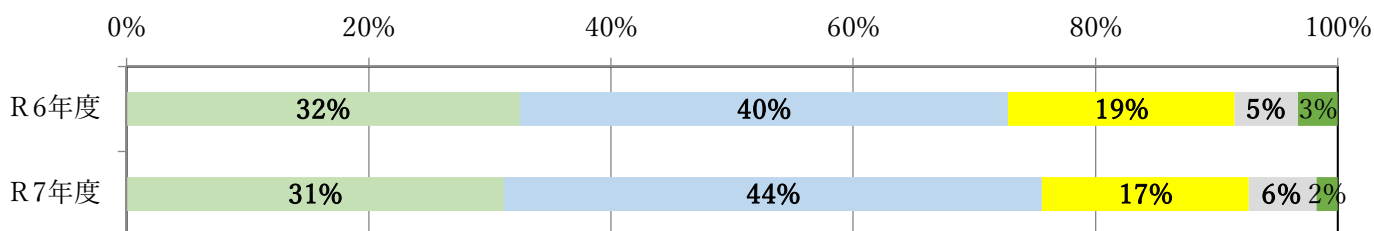
生徒⑬「悩みや困ったことについて話を聞いてくれる先生がいる」



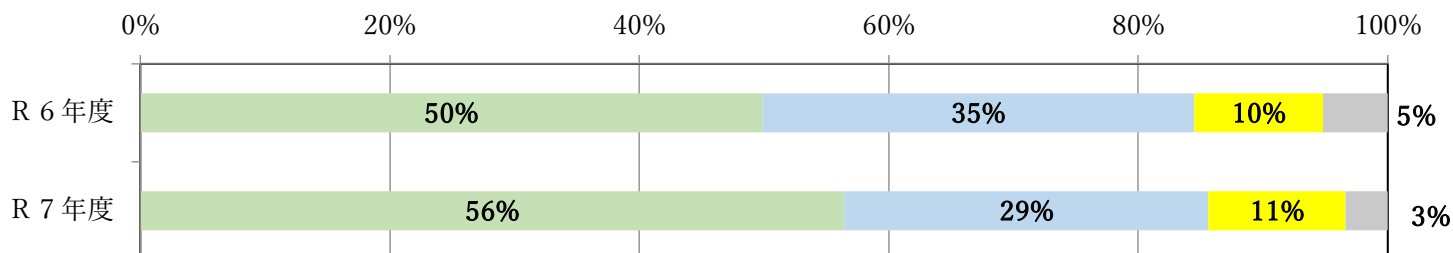
生徒⑰「自分には、よいところがある」



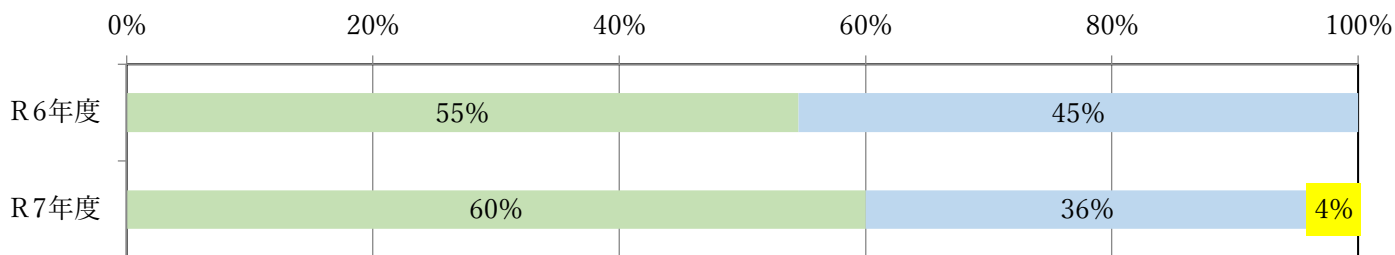
保護者⑩「学校は、学習指導・生活指導など生徒を良く理解し、適切な指導を行っている」



生徒⑯「学校はいじめや暴力がなく、安心して生活できる」



教職員⑧「生徒の課題にしっかりと目を向け、いじめなどの問題事象の未然防止に努めている」



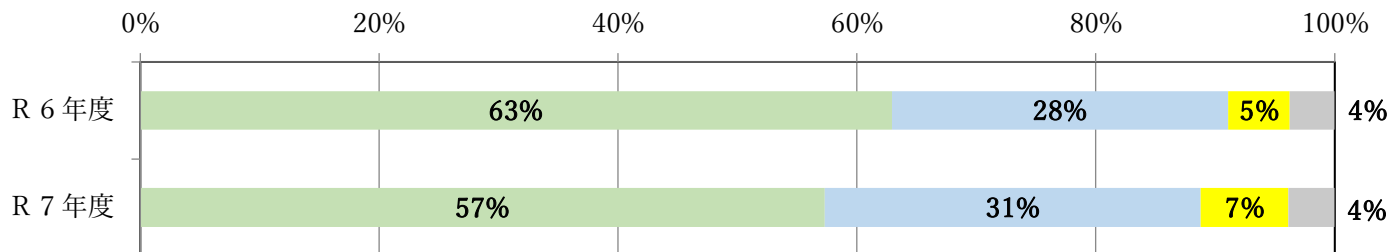
(4)いのちを大切にする心や人権を尊重する教育の充実

- ① すべての教育活動において、命を大切にする心を育成する。
- ② 人権を尊重し、多様性を認め合い、あらゆる差別を許さない人権教育の充実に努める。
- ③ 共に支え合う心を育成し、全校体制で特別支援教育の充実にを図る。

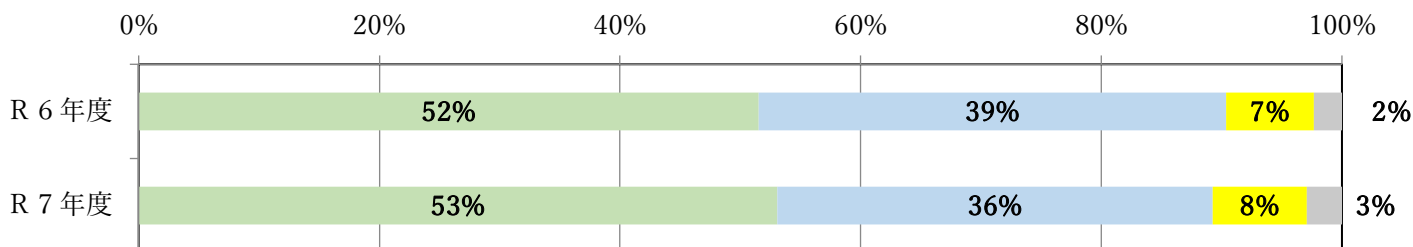
① ② 命を大切にする心の育成や人権教育について十分行っているかということについて、教職員の肯定的な回答は昨年度に比べて10%増えている。しかし、生徒や保護者は昨年度に比べて肯定的回答がわずかに減っている。校内で意図的かつ計画的に行っている人権教育等について広報の強化を図る必要がある。今学んでいることを発信することは家庭や地域で話題にすることにもつながると思われ、タイムリーに生徒が改めて学習する機会にも恵まれる可能性が広がる。各学年の取り組みとして、障がい者理解を深めるための車いす(福祉)体験や、今年度初めて実施した認知症サポーターの講座も関係機関と連携しながら実施することができた。

③ 特別支援教育については、個々の生徒についての情報交換に努めた。昨年度から、「高等学校への引継ぎシート」が運用され、高等学校へのスムーズな引継ぎができるように取り組んでいく。来年度も、特別支援教育コーディネーターを中心に、各特別支援学級担任をはじめ、各交流学級担任とも連携を密にしていく。支援が必要な生徒に対し、関係機関や保護者と連携しながらニーズに応じた支援ができるよう努める。

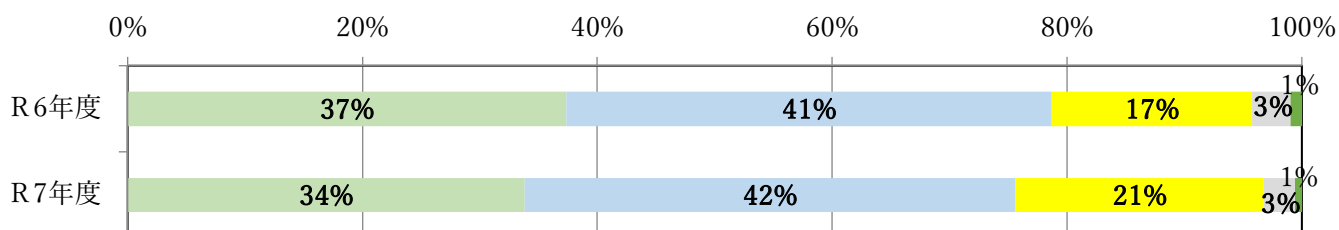
生徒⑫「学校で命の大切さや人権について学ぶことができた」



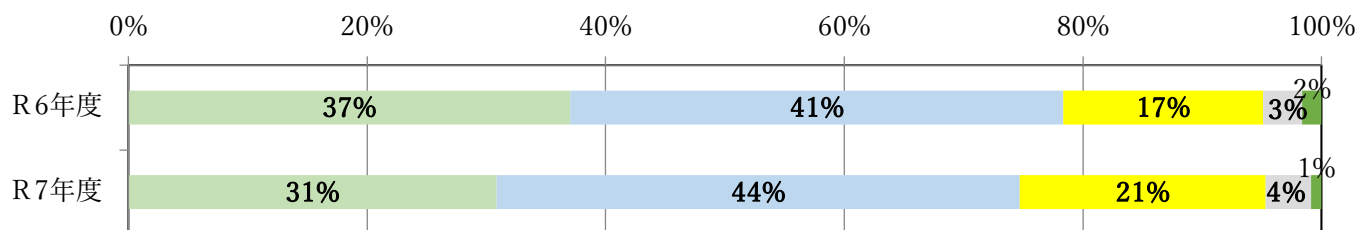
生徒⑭「周りの人に思いやりをもち、やさしく接している」



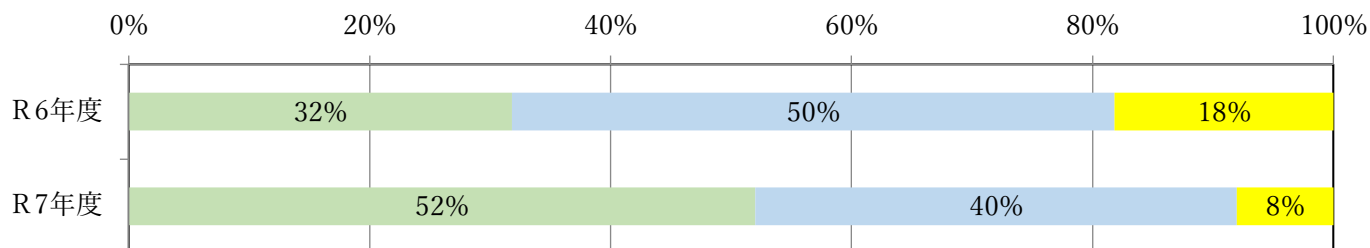
保護者⑦「学校は、命の大切さや人権を尊重する教育を推進している」



保護者⑤「学校は、生徒に人の立場を考え、相手を思いやることができるように努めている」



教職員⑥「命の大切さや人権についての取組を十分に行っている」

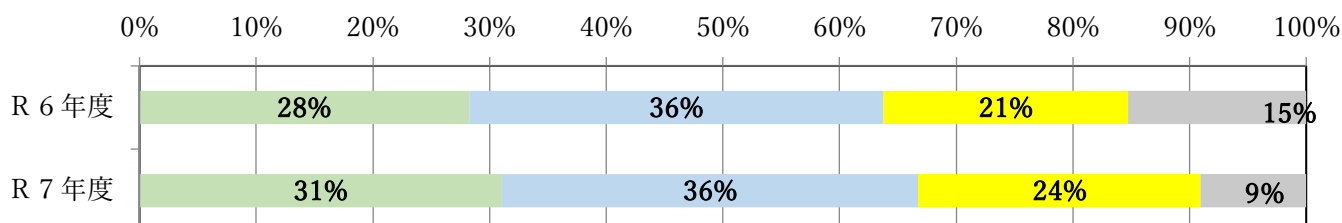


(5)保護者、地域との連携

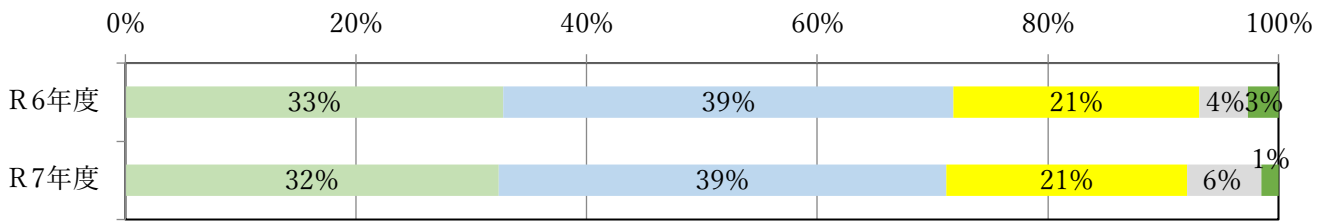
- ①学校ホームページや各種通信を通して、学校の様子や情報を積極的に公表し、信頼関係を構築する。
- ②学校運営協議会を核とした地域と共にある学校づくりを推進する。

- ① できる限り学校の日常について公式 X(旧 Twitter)を通じて発信し、学校ホームページや各種通信を利用して教育活動の公表に努めた。
- ② 年3回開催している学校運営協議会を中心として学校と地域の情報交換や学校教育活動の周知を図った。特に今年度は、本校の学校経営基盤とする生徒の安全・安心を施設・設備面より検討し、年度末に電子錠や防犯カメラの設置について市へ要望を行った。日頃の教育活動については、大中サポーターの募集をかけ、花いっぱい活動・除草作業活動・図書館整備・家庭科の授業補助活動などに協力いただいている。各自治会に回覧で大中サポーター募集のお願いや、学校だよりでの教育活動の紹介などを行うことで、興味をもって見ていただく方を増やせるよう努めている。地域の防災訓練に生徒が参加して、リーダーの役割を果たしたり、地域の雪遊びのボランティアで活躍する生徒を募ったりした。小さな親切運動に取り組んでおられる団体と本校生徒会が話し合う場については今年度で3年になる。また、花いっぱい運動では、ふろーらむの協力で、花苗の植え方の説明や指導していただいた。今後さらに地域でのボランティア活動や防災などの取組に生徒が活躍する場として取り組みを考えていきたい。

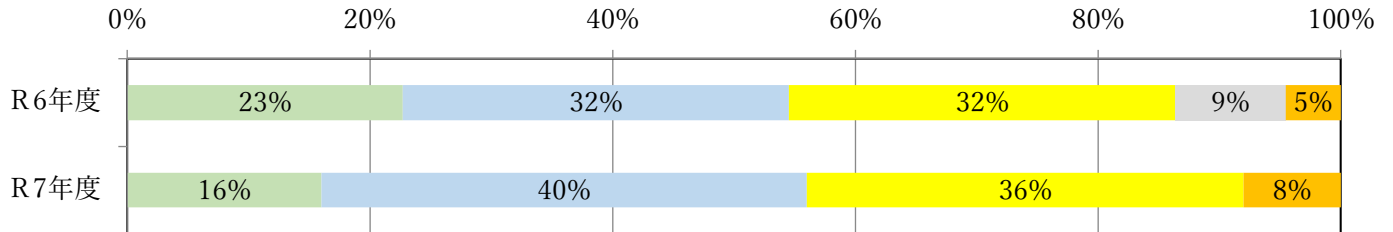
生徒⑩「普段から地域の人とあいさつを交わしたり、地域の行事に参加したりしている」



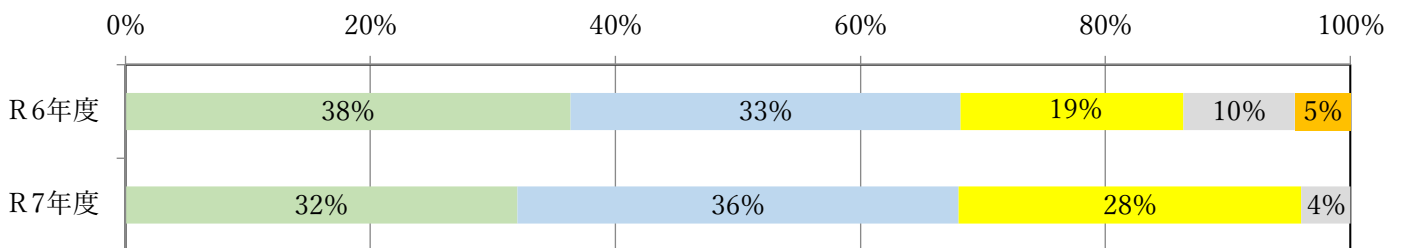
保護者⑦「学校は、保護者・地域と連携して教育活動を進めようとしている」



教職員⑩「授業や学校及び学年行事の積極的は公開に努めている」



教職員⑪「通信やホームページ、公式 X、保護者会等を通じて、家庭や地域への情報発信に努めている」



(7)教職員の働き方改革の推進

①仕事の効率化を図り、業務内容を見直し、超過勤務の減少に努める。

②教職員のライフアンドワークバランスを大切に、心身ともに健康で働きやすい職場を目指す。

昨年度立ち上げた働き方改革推進委員会は、令和6年度から8年度の3年間で目標達成終了を目指している。業務内容の見直し、職場環境の改善など働き方の改善に努めている。2年目にあたる今年度は市のワーキンググループの情報も共有しながら進めた。勤務時間の縮減は徐々に結果が出てきており、来年度は最終年度になるので目標達成を目指す。

保護者アンケート 自由記述より 貴重なご意見、本当にありがとうございました。

○体育大会等の保護者の写真・動画撮影ができるようにしてほしい

【参考】昨年度の回答

本校では、以前保護者が携帯で撮影した写真を SNSであげたことが発端となる大きなトラブルがあり、個人情報保護の観点も含め、昨年度写真・動画撮影を禁止しました。昨年度の体育大会は十分説明する間もなく直前の周知となったことについても否定的な意見がありました。そこで、昨年度末に PTA 役員と相談し、撮影しない方向で話が進み、PTA 総会でもその件について提案され認められましたので、今年度も禁止しました。今回アンケートだけでなく、懇談時にも許可してほしいという意見があったと聞いていますので、PTA の役員の方とも相談し、再度検討します。

昨年度の学校からの回答を受けて、今年度の初めに PTA の役員の方と相談し、その結果、PTA 会長と校長連名で保護者のみなさま宛に、ご協力をお願い文書を出しました。文化発表会や体育大会当日にも来校者に改めて周知を図り、お願いをした次第です。PTA 役員の方と協議の上、学習環境を守るため決めましたので引き続きご協力いただきますようお願いいたします。

○受験に向けて・進路通信の内容について

進路通信の内容で、奈良県内私学登録開始の時期について「すべて」や「必ず」という断定的表現で周知し、一部事実

と異なる情報として大きな混乱を招いたというご指摘をいただきました。受験生を抱えるそれぞれの家庭において重要な情報であり、大変申し訳ありませんでした。一部登録開始になっていない学校については学級で口頭による説明となっていたようですが、文書に正確さを欠いた点において大変ご迷惑をおかけいたしました。今後は、文書表記内容の確認徹底を図り再発防止に努めます。

その他

- 体育大会について
- わかりやすい授業について
- 教員の指導のあり方について
- タブレットの活用の仕方について
- 学校の環境について
- 校外学習・修学旅行について
- キャリア学習について
- 部活動について
- 教科指導及び試験について
- 生徒の学校での様子について
- 学校評価アンケートの質問内容について

など さまざまな意見をいただきました。

いただいた意見をもとに検証し、生徒の安全・安心を基盤とした学校づくりに努めます。